

(鳥インフルエンザ事案)

総理指示

- 家きん業者に対し、厳重な警戒を要請するとともに、予防措置について適切な助言を行うこと。
- 現場の情報をしっかり収集すること。
- 鳥インフルエンザと考えられる家きんが確認された場合、農林水産省はじめ関係各省が緊密に連携し、徹底した防疫措置を迅速に進めること。
- 国民に対して正確な情報を迅速に伝えること。

宮崎県木^{きじょうちよう}城^{きじょうちよう}町における高病原性鳥インフルエンザ
の疑い事例のこれまでの対応状況

農林水産省

- 1 昨日（24日（火））、宮崎県木^{きじょうちよう}城^{きじょうちよう}町の家きん農場において、死亡羽数が増加したため、当該農場から昨日11時30分に宮崎家畜保健衛生所に通報。
- 2 家畜防疫員が当該死亡家きんについて簡易検査を行ったところ、昨日15時30分に陽性と判明。
- 3 引き続き、遺伝子検査を実施した結果、昨日23時5分にH5亜型陽性と判明（疑似患畜と判定）。
- 4 昨日23時5分から消毒等の防疫措置を実施しており、併せて埋却に向けた準備も現在行っているところ。
- 5 25日（水）0時35分から殺処分を実施。

【農場概要】

農場所在：宮崎県木^{きじょうちよう}城^{きじょうちよう}町

飼養形態：肉用鶏約17万羽

※ 半径3 km圏内の家きん飼養農場（発生疑い農場は除く。）

：10戸約41万羽

※ 半径3-10km圏内の家きん飼養農場：140戸約560万羽

平成28年12月19日
農林水産省対策本部決定

今後の対応方針

「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」等に基づき、以下の措置を実施する。

- 1 ①当該 1 農場の飼養家きんの殺処分及び埋却、②農場から半径 3 km以内の区域について移動制限区域の設定、③半径 3 kmから10km以内の区域について搬出制限区域の設定等必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施。
- 2 移動制限区域内の農場について、速やかに発生状況確認検査を実施。
- 3 感染拡大防止のため、発生農場周辺の消毒を強化し、主要道路に消毒ポイントを設置。
- 4 明朝、磯崎副大臣を宮崎県に派遣。
- 5 食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会家きん疾病小委員会を開催し、防疫対策に必要な技術的助言を得る。
- 6 感染状況、感染経路等を正確に把握し、的確な防疫方針の検討を行えるようにするため、農林水産省及び動物衛生研究部門の専門家を現地に派遣。
- 7 宮崎県の殺処分・焼埋却等の防疫措置を支援するため、必要に応じ、各地の動物検疫所、家畜改良センター等から「緊急支援チーム」を派遣。
- 8 明朝、疫学調査チームの派遣。
- 9 全都道府県に対し、本病の早期発見及び早期通報の徹底を改めて通知。
- 10 関係府省庁と十分連携を図りつつ、生産者、消費者、流通業者等への正確な情報の提供に努める。

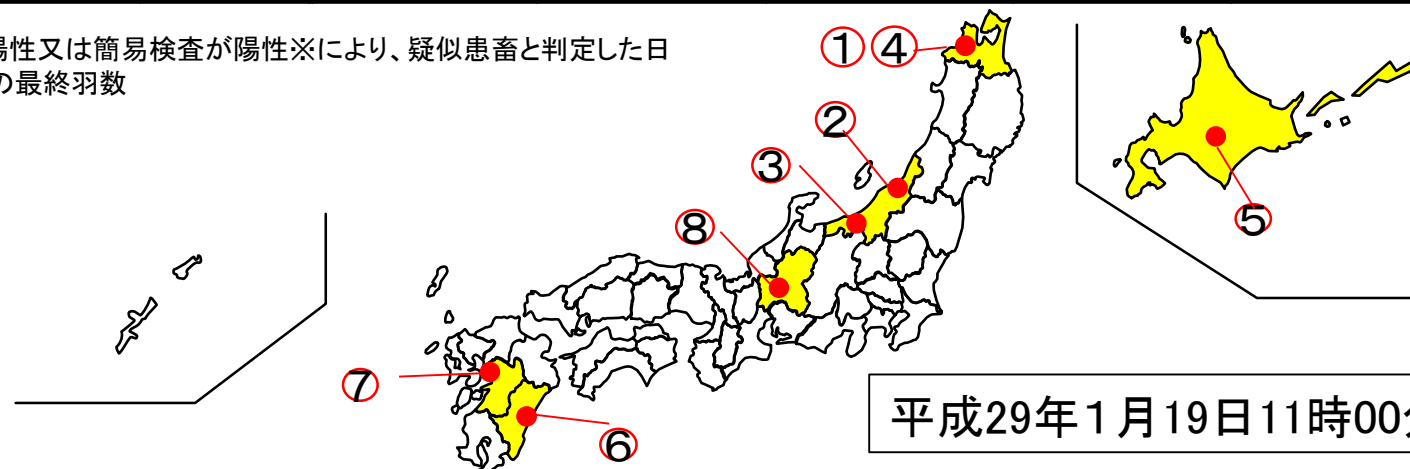
平成28-29年シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生について (全6道県 8農場 約114.3万羽)

発生概要				農林水産省 対策本部	防疫対応状況(予定は最短の場合)				
事例	発生日 ^{注1}	発生場所	飼養羽数 ^{注2} /種別		措置完了日(0日目) ~ 10日目		21日目		
					防疫措置 (殺処分、消毒等)	清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
①	青森県	2016年 11月28日	青森市	約1.8万羽 あひる	11月28日	11月29日開始 12月5日完了	12月16日開始 12月21日完了	12月21日解除	12月27日解除
②	新潟県	2016年 11月29日	関川村	約31万羽 採卵鶏	11月28日	11月29日開始 12月5日完了	12月16日開始 12月20日完了	12月20日解除	12月27日解除
③	新潟県	2016年 11月30日	上越市	約24万羽 採卵鶏	11月30日	12月1日開始 12月6日完了	12月17日開始 12月21日完了	12月21日解除	12月28日解除
④	青森県	2016年 12月2日 [*]	青森市	約4,700羽 あひる	12月2日 (持ち回り)	12月2日開始 12月5日完了	12月16日開始 12月21日完了	12月21日解除	12月27日解除
⑤	北海道	2016年 12月16日	清水町	約28万羽 採卵鶏	12月16日	12月16日開始 12月24日完了	1月4日開始 1月10日完了	1月10日解除	1月15日解除
⑥	宮崎県	2016年 12月19日	川南町	約12万羽 肉用鶏	12月19日	12月20日開始 12月21日完了	1月1日開始 1月5日完了	1月5日解除	1月12日解除
⑦	熊本県	2016年 12月27日	南関町	約9.2万羽 採卵鶏	12月26日 (持ち回り)	12月27日開始 12月28日完了	1月8日開始 1月12日完了	1月12日解除	1月19日解除
⑧	岐阜県	2017年 1月14日	山県市	約7.8万羽 採卵鶏	1月14日	1月14日開始 1月17日完了	1月28日開始予定 2月1日完了予定	2月1日 解除予定	2月8日 解除予定

防疫対応終了

注1) 遺伝子検査がH5亜型陽性又は簡易検査が陽性^{*}により、疑似患者と判定した日

注2) 飼養羽数は、殺処分時の最終羽数



平成29年1月19日11時00分現在

韓国における高病原性鳥インフルエンザ(H5N6亜型)の状況 (2016年11月以降)

2017年1月23日現在

京畿道 (115件)

- ・楊州(ヤンジュ)市 2016年11月20日以降 6件
- ・抱川(ポチョン)市 2016年11月22日以降 21件
- ・利川(イチョン)市 2016年11月25日以降 22件
- ・安城(アンソン)市 2016年11月25日以降 25件
- ・平沢(ピョンテク)市 2016年11月28日以降 14件
- ・華城(ファンソン)市 2016年11月29日以降 7件
- ・楊平(ヤンピョン)郡 2016年12月3日 1件
- ・驪州(ヨジュ)市 2016年12月6日以降 10件
- ・龍仁(ヨンイン)市 2016年12月9日以降 4件
- ・金浦(キムポ)市 2016年12月12日以降 2件
- ・果川(クァチョン)市 2016年12月17日 1件
- ・広州(クァンジュ)市 2016年12月18日 1件
- ・漣川(ヨンチョン)郡 2017年1月12日 1件

江原道 (4件)

- ・鉄原(チョルオン)郡 2016年11月30日 2件
- ・麟蹄郡(インジェ)郡 2017年1月7日 1件
- ・横城(フェンソン)郡 2017年1月9日 1件

仁川広域市 (1件)

- ・西(ソ)区 2016年12月26日 1件

忠清南道 (57件)

- ・牙山(アサン)市 2016年11月23日以降 13件
- ・天安(チョナン)市 2016年11月24日以降 43件
- ・瑞山(ソサン)市 2017年1月6日以降 1件

忠清北道 (85件)

- ・陰城(ウムソン)郡 2016年11月16日以降 47件
- ・清州(チョンジュ)市 2016年11月19日以降 7件
- ・鎮川(チンチョン)郡 2016年11月23日以降 26件
- ・槐山(クェサン)郡 2016年11月30日以降 3件
- ・忠州(チュンジュ)市 2016年12月5日 1件
- ・沃川(オクチョン)郡 2016年12月21日 1件

世宗特別自治市 (17件)

- 2016年11月26日以降 17件

全羅北道 (31件)

- ・金堤(キムジェ)市 2016年11月21日以降 5件
- ・井邑(チョンウプ)市 2016年12月4日以降 22件
- ・高敞(コチャン)郡 2016年12月8日 1件
- ・扶安(プアン)郡 2016年12月8日以降 3件

全羅南道 (20件)

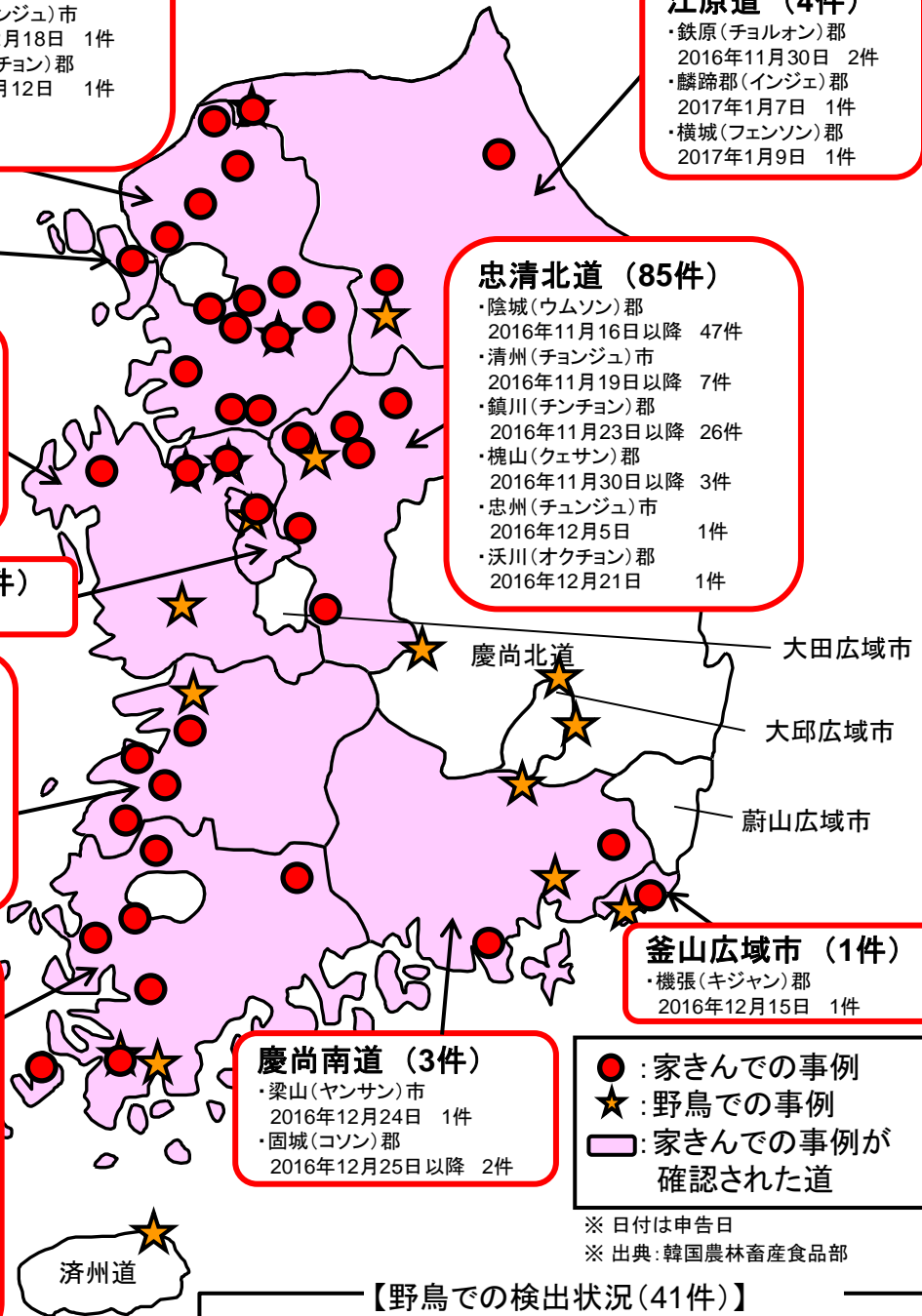
- ・海南(ヘナム)郡 2016年11月16日以降 2件
- ・務安(ムアン)郡 2016年11月19日 3件
- ・羅州(ナジュ)市 2016年11月28日以降 10件
- ・長城(チャンソン)郡 2016年12月1日 1件
- ・求礼(クレ)郡 2016年12月17日 1件
- ・珍島(チンド)郡 2016年12月22日 1件
- ・靈岩(ヨンアム)郡 2016年12月24日以降 2件

慶尚南道 (3件)

- ・梁山(ヤンサン)市 2016年12月24日 1件
- ・固城(コソン)郡 2016年12月25日以降 2件

釜山広域市 (1件)

- ・機張(キジャン)郡 2016年12月15日 1件



- : 家きんでの事例
- ★ : 野鳥での事例
- : 家きんでの事例が確認された道

※ 日付は申告日
※ 出典: 韓国農林畜産食品部

家きんでの確認件数: 334件

あひる 135件
鶏 191件
うずら等 7件
混合 1件

【野鳥での検出状況(41件)】

・江原道原州市	1件	・全羅南道康津郡	4件
・江原道鉄原郡	1件	・全羅南道海南郡	1件
・京畿道利川市	2件	・世宗特別自治市	2件
・忠清北道曾坪郡	2件	・慶尚南道昌寧郡	1件
・忠清南道天安市	6件	・慶尚南道昌原市	4件
・忠清南道牙山市	7件	・慶尚北道慶山市	2件
・忠清南道扶餘郡	1件	・慶尚北道金泉市	1件
・全羅北道益山市	1件	・釜山広域市	2件
・大邱広域市	1件		
・済州特別自治道済州市	2件		

(殺処分羽数: 3,260万羽)

※2017年1月23日時点

※2017年1月23日時点

宮崎県木城町における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について

本日確認された宮崎県木城町における高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例については、遺伝子検査の結果、H5亜型であり、本日、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることが確認されました。

1. 概要

本日確認された宮崎県木城町における高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例については、遺伝子検査の結果、H5亜型であり、本日、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることが確認されました。

今後、NA亜型について動物衛生研究部門（注）において検査を実施します。

（注）国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門：国内唯一の動物衛生に関する研究機関（部門長 坂本研一）

2. その他

- （1）当該農場は、農家から届出があった時点から飼養家きん等の移動を自粛しています。
- （2）我が国では、これまで家きん肉及び家きん卵を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染した事例は報告されていません。
- （3）現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。
- （4）今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

【お問合せ先】

消費・安全局動物衛生課

担当者：石川、菊池

代表：03-3502-8111（内線4582）

ダイヤルイン：03-3502-8292

FAX：03-3502-3385

平成 29 年 1 月 24 日

家きんにおける こうびょうげんせい 高病原性 鳥インフルエンザ疑い事例に係る
環境省の対応について

環境省

宮崎県 きじょうちょう 木城町の農場における高病原性鳥インフルエンザの疑い事例への環境省の対応は、以下のとおり。

- 発生農場周辺半径 10km を「野鳥監視重点区域」に指定し、宮崎県に野鳥の監視を強化するよう要請。
- 九州地方環境事務所に、宮崎県と連携し、現地周辺の野鳥に関する情報収集を指示。
- 野鳥緊急調査チームの派遣については、本事例の発生地点が前回宮崎県で発生が確認された家きんにおける事例と近接しており、すでに調査チームを派遣していることから、今回は実施しない。

※野鳥緊急調査チーム：現地の状況把握、指導助言等を実施。

※家きんの発生を受けての対応状況

確認日	場所	種類	野鳥緊急調査 チームの派遣	野鳥監視重点 区域の設定日
11 月 28 日	青森県 青森市	あひる	12 月 1 日～6 日	11 月 28 日
11 月 29 日	新潟県 関川村	採卵鶏	12 月 1 日～3 日	11 月 28 日
11 月 30 日	新潟県 上越市	採卵鶏	12 月 6 日～8 日	11 月 30 日
12 月 2 日	青森県 青森市	あひる	12 月 1 日～6 日 ※1 例目と併せて実施	11 月 28 日
12 月 16 日	北海道 清水町	採卵鶏	12 月 20 日～23 日	12 月 16 日
12 月 19 日	宮崎県 川南町	肉用鶏	12 月 22 日～24 日	12 月 19 日
12 月 27 日	熊本県 南関町	採卵鶏	12 月 28 日～30 日	12 月 27 日

1月14日	岐阜県 山県市	採卵鶏	1月17日～19日	1月14日
1月24日	宮崎県 木城町	肉用鶏	実施済み (12月22日～24日)	1月24日

<野鳥等における取組>

- 冬鳥の渡来に合わせ、毎年10月～翌年4月に全国の渡来地で糞便を採集。また、通年で死亡野鳥等から検体を採取し、鳥インフルエンザウイルスの保有状況を調査（野鳥サーベイランス）。
- 国内の複数箇所で発生したため、11月21日に野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを最高レベルの「対応レベル3」に引き上げ。
- 今シーズンは、野鳥等において18道府県184例の高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6亜型)を確認。1シーズンで過去最高の確認件数。
- 各発見地の周辺半径10kmを「野鳥監視重点区域」に指定するとともに「野鳥緊急調査チーム」の派遣等、野鳥の監視を強化。これまで異常は確認されていない。
- 12月13日(火)に一層の監視の強化と迅速な情報共有を徹底するよう都道府県に再度の通知。
- 全国で野鳥の死亡が続発していることを踏まえ、12月27日(火)に「鳥インフルエンザ等野鳥対策に係る専門家グループ緊急会合」を開催。野鳥の死亡が続発している地域での検査の効率化、給餌の見直しの周知等について合意。この結果を12月28日(水)に各都道府県に通知。

場所	検体	検出日
鹿児島県出水市	ねぐらの水	11月18日
	ナベヅル23羽	11/22、24、28、29、12/2、5、7、9、12、16、19
	ヒドリガモ3羽	11月28日、12月6日
	カモ類糞便	11月28日
	オナガガモ1羽	11月29日
	マナヅル1羽	11月29日
秋田県秋田市 (※動物園)	コクチョウ3羽	11月21、28日
	シロフクロウ3羽	11月30日、12月12日
鳥取県鳥取市 〃 米子市	カモ類糞便(3例)	11月21、28日
	コハクチョウ2羽	11月30日
岩手県盛岡市	オオハクチョウ7羽	11月28日、12月26日、1月2、6、18日

〃 滝沢市	マガモ	12月19日
〃 一関市	コハクチョウ	12月22日
〃 〃	オオハクチョウ2羽	12月30日、1月4日
〃 花巻市	オオハクチョウ	1月2日
〃 〃	コハクチョウ2羽	1月2、4日
〃 〃	ハクチョウ類	1月13日
〃 大船渡市	オオバン	1月4日
宮城県登米市	マガン	11月29日
〃 栗原市	マガン	12月5日
兵庫県小野市	カモ類糞便	12月1日
〃 西宮市	キンクロハジロ	1月13日
〃 伊丹市 (※飼育下)	コブハクチョウ6羽	1月18、24日
北海道苫小牧市	ハヤブサ	12月5日
〃 北見市	オオハクチョウ2羽	12月8、13日
〃 上士幌町	フクロウ	12月20日
〃 音更町	ハヤブサ	12月22日
〃 白老町	オナガガモ	12月28日
〃 厚岸町	オオハクチョウ	1月24日
新潟県阿賀野市	コハクチョウ13羽	12月7、12、13、20、22、28日
〃 〃	オオハクチョウ	12月13日
〃 上越市	ハシボソガラス	12月9日
〃 〃	ハヤブサ	12月9日
〃 新潟市	コハクチョウ	12月28日
〃 村上市	ハヤブサ	1月13日
茨城県水戸市	オオハクチョウ	12月7日
〃 〃	ユリカモメ7羽	12月12、26、27、30日、1月6日
〃 〃	コブハクチョウ30羽	12月13、16、21、26、27、30日
〃 〃	コクチョウ8羽	12月26、27、30日、1月6、12、21日
〃 〃	カンムリカイツブリ3羽	12月30日、1月6日
〃 〃	ホシハジロ	12月30日
〃 鹿嶋市	ユリカモメ2羽	12月26日、1月6日
〃 〃	オオハクチョウ	1月6日
〃 ひたちなか市	ユリカモメ	12月30日
〃 潮来市	オオハクチョウ	1月21日
福島県福島市	オオハクチョウ	12月8日

〃 鏡石町	オオハクチョウ	12月28日
愛知県名古屋市 <small>(※動物園)</small>	コクチョウ3羽	12月12日
〃 〃	シジュウカラガン4羽	12月13、20、28日
〃 〃	マガモ2羽	12月13日
〃 〃	ヒドリガモ	12月13日
〃 〃	飼養施設の水(2例)	1月5日
〃 豊橋市	ヒドリガモ	1月13日
〃 西尾市	ホシハジロ、スズガモ	1月13、20日
青森県八戸市	オオハクチョウ	12月15日
〃 八戸市	オオタカ	1月11日
〃 三沢市	コブハクチョウ	12月20日
〃 〃	オオハクチョウ	1月6日
〃 弘前市	オオタカ	12月22日
〃 平内町	オオハクチョウ	12月22日
〃 むつ市	オオハクチョウ	12月22日
〃 十和田市	オオハクチョウ	1月6日
栃木県真岡市	オオタカ	12月16日
三重県明和町	オオタカ	12月20日
京都府京都市 <small>(※飼育下)</small>	コブハクチョウ7羽	12月23日
長崎県諫早市	ハヤブサ	12月28日
山口県山口市	ホシハジロ	1月17日
滋賀県草津市	オオバン	1月20日